

心肺蘇生と全身状態の観察

人が倒れている！！



周囲の安全を確認

なし

あり

意識を調べる

肩を軽くたたきながら
「大丈夫ですか？」「どうしましたか？」

人を集め、応援を頼む

「誰か来てください！人が倒れています！」

救急車を呼ぶ（119番）

AEDを手配する
通信指令員の指導に従う

呼吸を調べる

呼吸なし
または死戦期呼吸*2

*2わからないときは
胸骨圧迫を開始する

ただちに**胸骨圧迫**を開始する
強く、速く、絶え間なく*3

人工呼吸の技術と意思があれば
胸骨圧迫30回人工呼吸2回の組み合わせ

AED装着

心電図解析

電気ショックが必要かどうかを
AEDが解析しアナウンスしてくれます

必要あり

必要なし

電気ショック1回実施
ただちに胸骨圧迫から再開

ただちに胸骨圧迫から再開

救急隊に引き継ぐまで、または
傷病者に普段通り呼吸や目的のある仕草がみられるようになるまで
胸骨圧迫、人工呼吸を続ける。

全身状態の観察（「救急車を呼ぶ例」参照）

重症

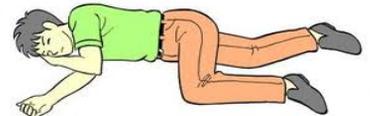
重症ではない

救急車を呼ぶ（119番）

手当て、全身状態の観察をしつつ、
保健館に**応急対応**を依頼、
又は、**近隣の医療機関へ搬送**、
受診を促す

普段どおりの呼吸あり

気道確保し回復体位*1
をとらせる
観察を続け救急車の到着を待つ



*1回復体位：顎を前に出し上側の手の甲に顔をのせる
上側の膝を約90度曲げて体を安定させる

*3強く（成人は約5cm、小児は胸の厚さの1/3）
速く（100～120回/分）
絶え間なく（中断を最小限に）

※手順はすべてAEDの音声指示に従ってください。